

# 定期火山情報

第 1 1 号

平成 1 3 年 1 1 月 1 2 日 1 0 時  
軽井沢測候所 発表

## 火山名 浅間山

### 1. 概況

10月の浅間山は、9月に比べて火山性地震回数が増加し、期間後半はやや多い状態で経過しました。また、火山性微動が24日に1回観測されました。噴煙活動については、噴煙量がやや増加したものの、とくに活発な活動は観測されませんでした。

11月に入ってから、地震回数は5日に64回、そのほかの日も20～50回前後と、やや多い状態で推移しています。噴煙活動に大きな変化は観測されていません。

### 2. 遠望観測

10月は、悪天等のため山頂の見えなかった日が4日間ありました。

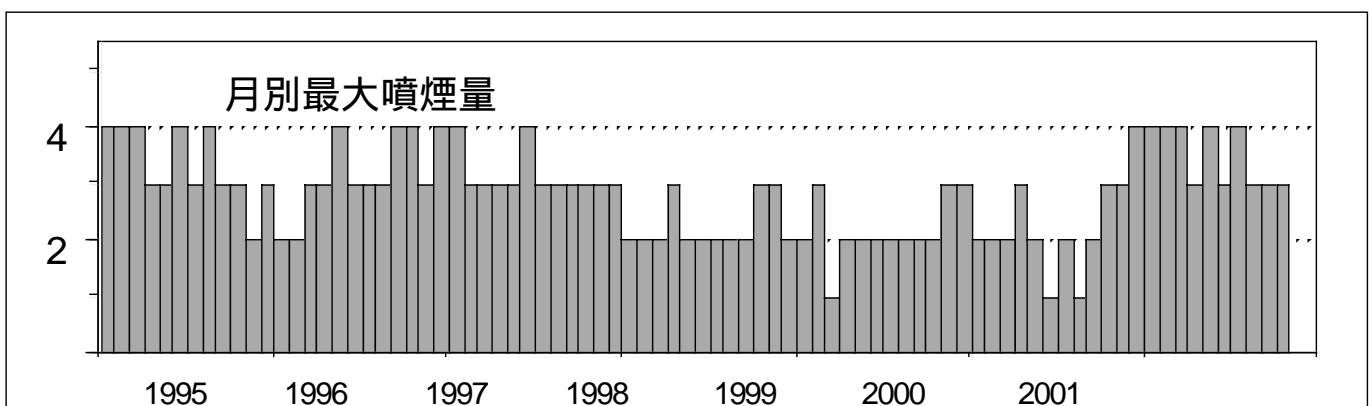
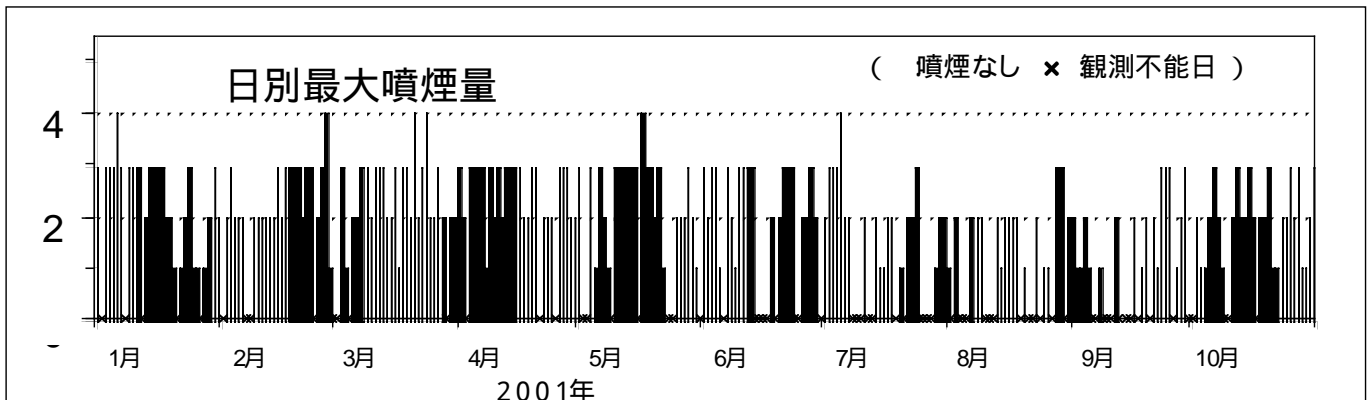
観測できた27日間のすべてに噴煙が観測されており、今期間も噴煙なしの日はありませんでした。観測の結果(日最大値)は次のとおりです。

噴煙の色：すべて白色。

噴煙の量：3(中量)が7回、その他は2(少量)以下。

噴煙高度：700mが1回(27日)、その他は600m以下。

今期間は、噴煙量3が7回(9月4回)観測されるなど、噴煙量の比較的少ない状態で経過していた7月中旬から9月に比べて、やや増加した状態となりました。



10月の地震回数は、月合計で見ると火口にもっとも近いB点では526回、基準観測点であるA点では113回で、9月の月合計(B点309回、A点99回)と比べてさらに増加した状態となりました。月合計回数が500回以上となったのは、一時的な地震急増活動が繰り返し観測されていた今年4月以来となりました。

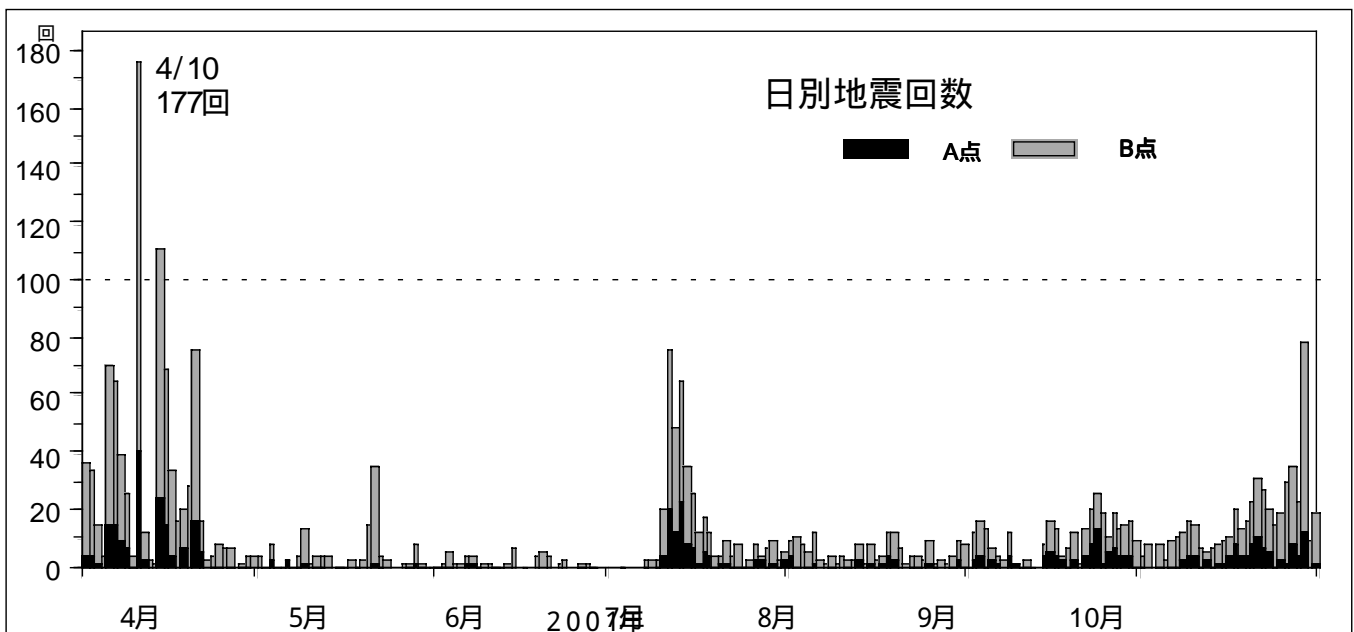
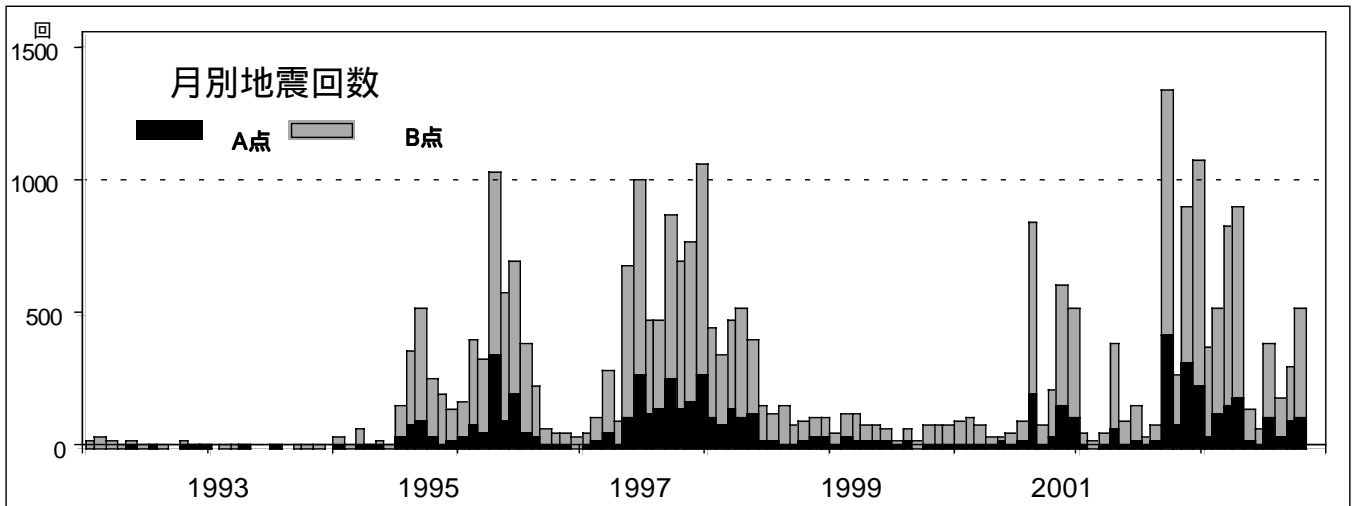
B点の日別回数で見ると、期間の前半は9月とほぼ同様に10回前後で推移したのに対し、期間後半になってやや増加した状態となり、20~30回前後の日が多くなりました。期間中、日別回数をもっとも多かったのは29日の79回でした。

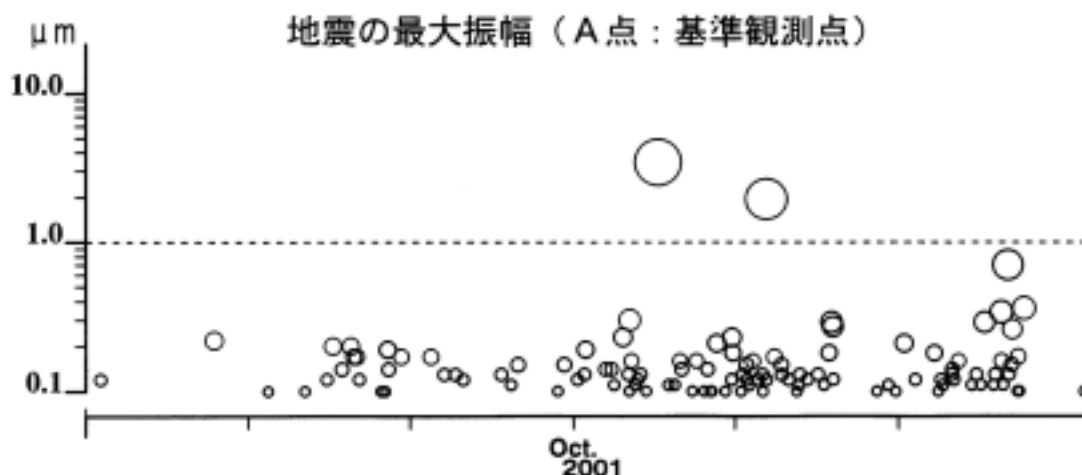
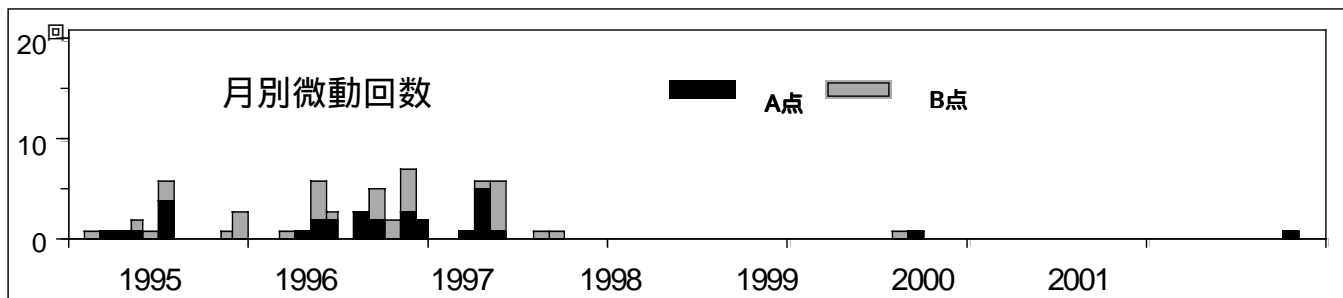
地震の大きさについてみると、期間後半に規模のやや大きい地震が2回観測され、基準観測点であるA点の最大振幅は、それぞれ3.5マイクロメートル(18日)、2.0

< 10月の各観測点の火山性地震・微動の回数 ( )内は微動回数 >

観測点	上旬	中旬	下旬	10月計	(9月計)
A点 〔SSE3.8km〕	16(0)	40(0)	57(1)	113(1)	99(0)
B点〔S 2.0km〕	90(0)	126(0)	310(1)	526(1)	309(0)
C点〔SE 3.2km〕	67(0)	106(0)	233(1)	406(1)	253(0)
D点〔N 3.2km〕	4(0)	6(0)	24(0)	34(0)	-(-)
E点〔NE 2.0km〕	69(0)	90(0)	255(1)	414(1)	-(-)

( )内は火口からの方向と距離





マイクロメートル(21日)でした。18日の地震について決定されたマグニチュードは、M1.8で、地震の規模としては2月3日のM1.7以来でした。これら以外は、すべて0.7マイクロメートル以下の小さいものばかりでした。なお、震度1以上を観測する地震の発生はありませんでした。

火山性微動が24日に1回観測されました。この火山性微動の震動継続時間は短く(1分25秒)、振幅も0.3マイクロメートルと小さいものでした。火山性微動が観測されたのは、1999年9月5日以来でした。

このように、10月後半からは、地震回数がやや増加したことに加え、比較的規模の大きい地震や火山性微動の発生もあって、地震活動にやや活発な状態が観測されています。

#### 4. 現地観測

10月16日に浅間山山頂火口の現地観測を実施しました。6月の観測では火口内に噴煙が充満した状態だったため、火口内の状況を詳しく観察できたのは、昨年10月以来となりました。

今回の観測で、火口底内に新しい噴気孔が確認され、昨年までと比べて噴気孔群の分布や規模が増大していることも確認されました。噴気活動による変色域の拡大も認められ、噴気地帯の地表面温度の最高は142で、これまで100前後だった過去の観測値に比べて高い温度が測定されました。このように、山頂火口内の活動状況についても、昨年までと比べるとやや活発な状態となっていました。なお、火口周縁部では、今回も火山ガスによる強い刺激臭が観測されています。

このほか、ごく弱い噴気活動が続いている西前掛山北端噴気孔における温度測定や、湯の平下の地獄谷における火山ガス測定、湧水の水温・pH測定等を実施しましたが、いずれも従来の観測値と比べて大きな差異はなく、異常な変化は観測されませんでした。

10月23日と26日には、浅間山山麓周辺の湧水の水温・pH等の観測を実施しましたが、これらについても異常は認められませんでした。